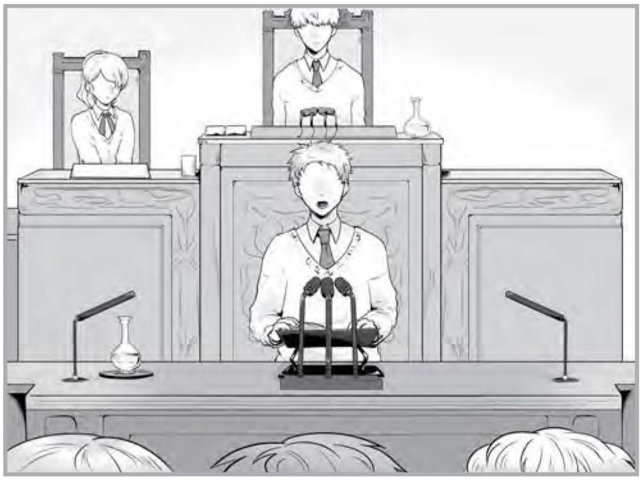
社会のルールの在り方を考える

法律をつくってみよう、つかってみよう

高校生 大学生



複雑な背景を持った社会的課題

様々な背景を持った人たちが共生する現代社会。そこには、ヘイトスピーチや少年事件の実名報道など、解決できていないけれども、多くの人が改善の必要性を認識している「社会的課題」が多く存在します。様々な決まりごとやルール等が絡み合っているため、明確な法律的判断をしにくいものも多いのですが、何らかの対処や改善が求められています。

授業の詳細

対象　：高校生、大学生
関連教科　：社会科、道徳、国語、特別活動／法学入門、憲法入門、教育課程
授業時間　：100分 (50分×2コマ)

プログラムのねらい

社会課題事例の中から一つを選び、自分達で法律(ルール)を作り、解決しようとする課題がそのルールによってどのような結論になるかを考えます。みんなが納得する解決策はみつけられるでしょうか。**ルールはどのように使ったらよいのか**について考えるとともに、**見直すことの大切さ**を学びます。

授業の流れ

生徒は国民（＝主権者）として、グループごとに課題事例について考え、一つのルールをつくります。その後、グループディスカッションを通して問題を共有していきます。

50分 → 50分

1. ガイダンス

・主権者について
・現代社会の課題「社会問題」について

どのような社会問題があるのか、まず理解してもらいます。

2. 解決策の検討

・問題の把握
・実際の法律のについて
・法律（ルール）つくり

具体的な問題は、ヘイトスピーチ、少年犯罪の実名報道など、複数の教材から、事前に選べます。

3. グループディスカッション

・グループで作った法律（ルール）の発表
・あらかじめ設定された条件に当てはめ、ルールの適正性を検討し投票

自ら考える主体性を養うとともに、説得し、説得される体験を学びます。